

ればそれでいい」であり、日本の場合は輸送用の機能に加えてディスプレイ析の機能や広告効果も期待されています。例えば函自体に商品のセールスポイントが印刷されていたり函をそのまま展示台として利用出来る様な工夫が要求されています。商品をより魅力的に見せることへのこだわりが創意工夫を生み段ボールの機能開発に結びついていると思います。そんな考え方を具体化している日本ではソフトの面から見れば世界一の段ボール先進国かもしれません。日本での26年以降の普及の要因を特定しますと1.木材資源の節約、2.軽量で輸送費の削減、3.印刷が容易で広告効果の期待、4.低価格でコストがかからない等が上げられると思います。26年代に比べるとH6年で440倍の伸びになっております。H6年の日本での段ボール消費全額は1.5兆円といわれております。一般家庭では直接段ボールを買ってるわけではございませんが、物流の中で間接的に使用しているわけですから、四大家族として年間五万円使っていることになります。段ボールの生産量は土地と同じM²で示します。H6年の生産量は126億M²国民一人当たり畳60枚分。ミカン函に換算しますと140函使っている計算になります。日本の一日の段ボール生産量となりますと1M正方形に切りまして積み重ねますと8840Mの20倍エベレストの20倍の高さになります。1M巾の段ボールを延ばしてゆきますと11日目で月に到着する計算になります。38万4千km日本を100としまして米国が298、ドイツ47、フランス32、イギリス30、ちなみに新潟県は19こんな比率です。段ボールの消費量は物流と比例するわけですからその国の経済力民力を示す一つの指標ともいわれています。消費分野を大別して見ますと1位加工食品31%、青果物15%、電気機械12%、ガラス陶器8%、薬品化粧品6%、繊維4%、その他17%に分類されます。従事者7万人といわれております大きな数字を色々並べて見ましたが私共商売は地元密着の物流商売です。物が動かなければお手上です。価格破壊の流行語以業中東アジア地域から大量に安い商品が三条にも入っている様です。地元企業様から益々努力してもらい私共をリードしてほしいと思っております。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

7月30日例会： 会員卓話 西村護さん

8月6日例会： 会員増強拡大月間 長谷川博人さん

8月13日例会： 休会

8月20日例会： 会員卓話（健康） 山本賢さん

8月27日例会： 納涼例会



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を
行動力と先見の眼で

例会日
1996. 7. 23
累計 No 473
当年 No 4

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長／堀川正幸

幹事／佐藤義英

SAA／長谷川恵慈

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 卓話「ダンボール今昔」久保 博会員

出席： 本日の出席 56名中38名

先々週の出席率 56名中49名 87.50%（前年同期100%）

先週のメイクアップ： 7月21日 中條（県内会長幹事会）堀川正幸さん 佐藤義英さん

22日 三条南RCへ 坂本勝司さん

ビジター： 三条RCより 小出恵出さん 野村竹三郎さん 高橋一夫さん 高橋政志さん

五十嵐力さん 広岡豊作さん

三条南RCより 韭沢喜一郎さん

会長挨拶： 堀川正幸

皆さん今日は、少しご挨拶申し上げます。三条クラブ、南クラブより多勢メイクアップいただきまして有難うございます、日頃は大変お世話になりまして……。ここしばらく暑さが続いたせいか、あちこちで食中毒がはやっているようですが、皆様も体に気を付けていただき、その辺で変なものを拾い食いなどなさらぬように気を付けていただきたいと思います。さて、会長挨拶も三回目になりましたが、疑問、不思議ということで二回目の話をさせていただきます。

本屋さんに行くところと思いますが「カタカムナ」という古代文書についての本が出ています、著者が、地質調査の為にある田舎に行ったとき、道に迷ってしまい民家に泊まったところその家の主人が（近くの神社の神主だったそうです）見せてくれたそうですが、まったく日本語とは違う不思議な文字だったそうです。大変興味を持ち、休みのたびに通って書き写してもらい、色々な文献をあさって解読したところ、日本の超古代のことが書かれてあったということです、私達の習った歴史はせいぜい3000年位の昔、縄文時代からの歴史ですが、その古文書には約8000年から1万年位前のことが書かれてあったそうです、その頃の日本には大変進んだ科学文明があり、宇宙エネルギーや常温核融合について書かれてあったということです、しかしそうすると日本は一度退化をして今また進化をして来たということなのではないでしょうか？いったい日本人というのはどんな民族なので

しょうか、まことに不思議な話です。ご挨拶を終わります。

幹事報告： 佐藤幹事

- ・ 当年2回目週報は卓話未完結の為改めて掲載の為ロータリー情報の羽賀会員より寄稿して頂きました。
- ・ 7月21日 県内会長幹事会（中条）会長・幹事参加
- ・ 共同募金会三条支部より 県共同募金会三条支会委員の推薦依頼について 堀川会長推薦
- ・ 燕RCより 8月例会案内 8／1夜例会の為記帳受付
- ・ 見附RCより 8月例会案内 15日休会
- ・ 吉田RCより 8月例会案内 16日休会 23日納涼大会（記帳受付）
- ・ 三条RCより 14日休会（記帳受付） 28日夜例会（記帳受付）
- ・ 三条南RCより 26日は25日に親睦旅行 26日記帳受付
- ・ 越後魚沼RC チャーターナイトについて
平成8年10月13日（日）開催
- ・ 上半期会費未納の方早めに納入してください。

ニコニコボックス： 23日現在累計 91,000円

小出子恵出君 （三条RC）お世話になっています。今年度もよろしくお願い致します。

野村竹三郎君 （三条RC）本年も宜しくお願い致します。

長谷川博一君 毎日あついな仕事にスポーツに色々なことがたくさんあり、楽しい日々で感謝です。

馬場直次郎君 久保さんのお話楽しみにしていたのですが、午後から来客があり途中で失礼しますので宜しくお願い致します。

外山晴一君 久保さん卓話期待しております

柄沢憲司君 所用に付早退致します。久保さんの卓話聞けず残念です。尚小林満さん一年頑張ってください。

久保博君 時間の無駄使い申し訳ありません。

山上茂夫君 10周年実行委員会は映像記念誌の製作が終り、昨夜（7／22）会議で決算承認もあり、本日付で最終的に開散を宣言いたします。どうも有難うございました。

加藤実君 新年度初めてのホームクラブです。

中條耕二君 第一中学の四期の会は（昭和26年3月卒業）大変盛会でした。斉藤正さん、三条クラブの五十嵐さん、平松さん、南部さんお世話様でした。先日の五十嵐川クリンダー欠席のお詫びです。

落合益夫君

山口龍二君 BOXに協力ありがとうございます。今年度もBOXをよろしく

小林満君 久保さんの卓話楽しみです。御苦労様です。

卓話： 「段ボール今昔」 久保 博会員



今井先生から卓話をやる様命じられまして一瞬冷水を浴びる思いでございました。皆様方の貴重な時間を私の様な井の中の蛙が何を話すべきか迷ったのですが、自己紹介を兼ねながら私の商売でもございませう段ボールにまつわる話でも世間話感覚の中でさせて頂きたいと思えます。私の父は五泉在丸田の五男坊としてM39年生を受けました。事情がございまして、30才まで農業をやっておったのですが五男坊でもございませう。いつまでも家に居るわけにもゆきませうで新潟市に出まして私共の前身でもございませう儀函菓子型等を習って参りまして生活の場を三条に求めたわけでもございませう。戦事中軍属に徴集されまして三年余り空間があったのですが三条に戻って参りまして間借り借家轉々の生活でもございませうが三条の暖かい人情に支えられながら軒下商売をやっておりました。今から50年前の話です。私が後を継いだのが32年前2年ばかり同じ様な事をやっておりましたが、たまたま業界新聞に載っておりました大阪の段ボール機械メーカーさんを訪ねて参りまして地元のケース屋さんに案内され色々話を聞かせて頂き感化されて帰って来まして。私の段ボール商売の始めでもございませう。三条地元企業の皆様に育てられながら現在に至っております。表題の段ボール今昔という事で話して見たいと思えます。段ボールのルーツはイギリス。1856年二人の青年が一枚の紙に波状の段を付ける事を考案しその特許を取得した事から段ボールの歴史が始まりました。彼等が考えた段ボールの使いみちは当時流行していましたが山高帽子の汗取り用帽子の内側にバンド状に巻きつけて滴る汗を食い止めようという工夫でした。そんな風に意外な目的から誕生した波状の段のある紙が包装材料として使われる様になったのは1893年米国の一会社が波状のボール紙に上下貼り合せまして両面段ボールを考案したのが始まりです。米国では次第に木箱に変る外装材としてシェアが高まっていきました。1905年日本でも段ボールの製造が始まりましたが昭和に入りましてもお物流の主役は木箱でした。昭和26年米国ではすでに80%を段ボールが占めていたのに対して日本では7%に過ぎなかった事実からでも木箱全盛の様子がうかがえます。そんな中で日本の段ボール協会に突如として吹いた追い風が森林保護政策。太平洋戦争後の森林乱伐を憂慮しました政府は木材資源の有効利用を促進するものとして木箱から段ボールへの移行を強力にバックアップする声を閣議決定しました。これを契機にあらゆる産業界に需要を拡大してゆきます。当時唯一段ボールの苦手分野が水に弱いという事段ボール業界は水に強い段ボールを作るにはどんな工夫を施せばいいか真剣に考え始めました。結果生まれたのが耐水段ボールです。昭和40年代日本の高度成長に合わせて過速的に需要を拡大してゆきます。段ボールの生産量No.1は米国、日本は第2位です。米国で求められるてい段ボールの機能は「商品を保護して運べ